

3 二次手術から補綴ステップとメンテナンスにおいて考慮すべきこと

いし い たかのり たか い やすひろ
石井 肖得¹ 高井 康博²

1 JIADS 講師 AQUA 石井歯科
〒755-0026 山口県宇部市松山町 4 丁目8-20

2 JIADS 講師 医療法人双樹会 高井歯科医院
〒731-0112 広島県広島市安佐南区東原1-1-2
シーブリーズ東原七番館2F

本連載の主旨

昨今、国内だけでなく世界的にインプラント周囲炎の増加が顕在化してきており、その対処法の確立が急務となっている。しかしながら、インプラント周囲炎に対する明確な治療法ははまだ確立されておらず、その解決には相応の時間が必要と思われる。それでは、現時点においてわれわれが最も留意すべきことは何か？ それは、インプラント周囲炎を起こしにくいインプラント治療を行うことと考える。そこで本連載では、インプラント周囲炎を予防するために考慮すべき事項について、以下の観点から考えてみたい。

(高井康博)

5月号 術前に必要な診査・診断、歯周病治療で考慮すべきこと …………… 小野晴彦, 高井康博

6月号 インプラント埋入手術時に考慮すべきこと …………… 猪子光晴, 高井康博

7月号 二次手術から補綴ステップとメンテナンスにおいて考慮すべきこと

…………… 石井肖得, 高井康博

(太字は今回掲載分)

はじめに

本シリーズはインプラント周囲炎の発生を予防するために、その原因が発生する3つの時期での対応に焦点を当てた。5月号では「術前に必要な診査・診断、歯周病治療で考慮すべきこと」について、6月号では「インプラント埋入手術時に考慮すべきこと」について、そして今回は「二次手術から補綴ステップとメンテナンスにおいて考慮すべきこと」について論じる。

この3つの時期のどのステップにおいても、対応を誤ると将来インプラント周囲炎を発生させる原因を自らが作ってしまうこととなる。これが現在、インプラント周囲炎を蔓延させている原因の1つであることを、いま一度われわれは肝に銘じて治療にあたる必要がある。